



2020年11月13日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 CEO 一瀬 邦夫
(コード番号:3053 東証第一部)
問い合わせ先 常務取締役 総務本部長 猿山 博人
電 話 番 号 03(3829)3210

中期経営計画の進捗に関するお知らせ

当社は、2020年7月31日に策定いたしました2020年12月期乃至2023年12月期の中期経営計画において、添付資料のとおり進捗をお知らせいたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

株式会社ペッパーフードサービス 2020年12月期第3四半期決算説明

2020年11月13日

市場:東証一部

証券コード:3053

URL:<https://www.pepper-fs.co.jp/>

中期経営計画の進捗_20/3Qの予実差異

勘定科目	実績			実績	計画			計画	予実差異			予実差異
	20/7	20/8	20/9		20/7	20/8	20/9		20/7	20/8	20/9	
売上高	2,256	2,192	2,219	6,668	2,063	1,806	1,758	5,627	193	387	461	1,041
売上原価	1,403	1,367	1,380	4,150	1,345	1,117	1,087	3,548	58	251	293	602
売上総利益	853	825	839	2,518	718	689	671	2,079	135	136	168	439
売上総利益率	37.8%	37.6%	37.8%	37.8%	34.8%	38.2%	38.2%	36.9%	3.0%	▲0.5%	▲0.4%	0.8%
販売費及び一般管理費	1,172	1,409	1,259	3,840	1,137	1,112	1,078	3,327	35	297	181	513
営業利益	▲319	▲584	▲419	▲1,322	▲418	▲423	▲407	▲1,248	100	▲161	▲13	▲74
営業外収益	6	4	107	117	58	58	8	125	▲52	▲54	98	▲8
営業外費用	34	27	2	62	14	14	14	42	20	13	▲12	20
経常利益	▲346	▲606	▲314	▲1,267	▲374	▲379	▲412	▲1,165	28	▲227	98	▲102
特別利益	3	7,334	83	7,420	-	7,320	-	7,320	3	14	83	100
特別損失	8	-	▲394	▲386	-	330	-	330	8	▲330	▲394	▲716
税引前当期純利益	▲351	6,728	162	6,539	▲374	6,611	▲412	5,825	23	116	574	714
法人税等	112	112	▲797	▲572	11	11	▲603	▲581	102	101	▲194	9
当期純利益	▲463	6,616	959	7,111	▲385	6,601	191	6,406	▲78	15	769	705

※一部費用について計画策定時の科目前提との相違による差異が▲235百万円発生したことおよび、計画上4Qで見込んでいた販売促進費71百万円が前倒して3Qに発生したことにより、3Q営業利益を計画比で押し下げている。これらについて補正を行った場合の営業利益は▲1,016百万円であり、**計画比232百万円の上振れを達成**している。これに加えて米国子会社向け債務保証損失引当金の戻入が発生し特別損益のプラスとして発生している。

中期経営計画の進捗 20/3Qの予実差異(部門別)

単位:百万円

全社予実差異





勘定科目	実績	計画	予実差異
いきなり！ステーキ事業			
売上高	6,165	5,295	871
営業利益	▲536	▲645	109
レストラン事業			
売上高	283	211	72
営業利益	▲24	▲82	58
ペッパーランチ事業			
売上高	7	-	7
営業利益	▲2	▲5	3
本社・その他			
売上高	212	121	91
営業利益	▲761	▲516	▲245
合計			
売上高	6,668	5,627	1,041
営業利益	▲1,322	▲1,248	▲74

いきなり！ステーキ事業予実差異

勘定科目	実績	計画	予実差異
直営継続店舗			
売上高	4,210	3,694	516
営業利益	▲352	▲736	384
直営撤退店舗			
売上高	157	-	157
営業利益	▲400	▲7	▲393
FC店舗			
売上高	1,799	1,600	199
営業利益	288	258	30
営業本部			
売上高	-	-	-
営業利益	▲72	▲160	89
合計			
売上高	6,165	5,295	871
営業利益	▲536	▲645	109



取り組み施策の進捗状況

いきなり！ステーキ 事業


	施策	取組状況	参照頁
1. 不採算店舗の撤退	 <p>不採算店舗を撤退し、いきなり！ステーキ事業全体の収益力を高めます。</p>	114店舗のなかで61店舗について撤退完了またはスケジュール確定済。	P.5
2. 商品戦略の原点回帰	 <p>主力メニューへの絞り込みを実施、店舗オペレーションを安定化させ、高品質な商品の提供に努めます。</p>	新メニューについて検討中。	-
3. 立地別特性の分析	 <p>今後、地域や立地に合わせた商品展開を検討すべく、店舗立地ごとの特性の把握・分析を進めます。</p>	立地ごとの売上高の進捗を確認し、立地別のメニュー施策についてテスト店にて検証中。	P.7
4. SNS キャンペーン強化	 <p>公式Twitter・公式Instagramの定期的なキャンペーンによるフォロワー数増。情報拡散力の強化。</p>	Twitterで川柳企画を実施。アプリを用いた肉マイレージ会員へのアプローチを検討中。	-

取り組み施策の進捗状況

レストラン 事業

		施策	取組状況	参照頁	
5.	NEW PRIME42		ハイエンドレストランからミドルレンジレストランへの移行による売上・客数UP	価格帯の変更により客数が増加し、売上高は新型コロナ以前の2月水準まで回復。	-
6.	販売促進		各3業態にて、季節に応じた商品キャンペーンの計画的な実施	販促スケジュールに乗っ取り季節商品を提供予定。	-

その他

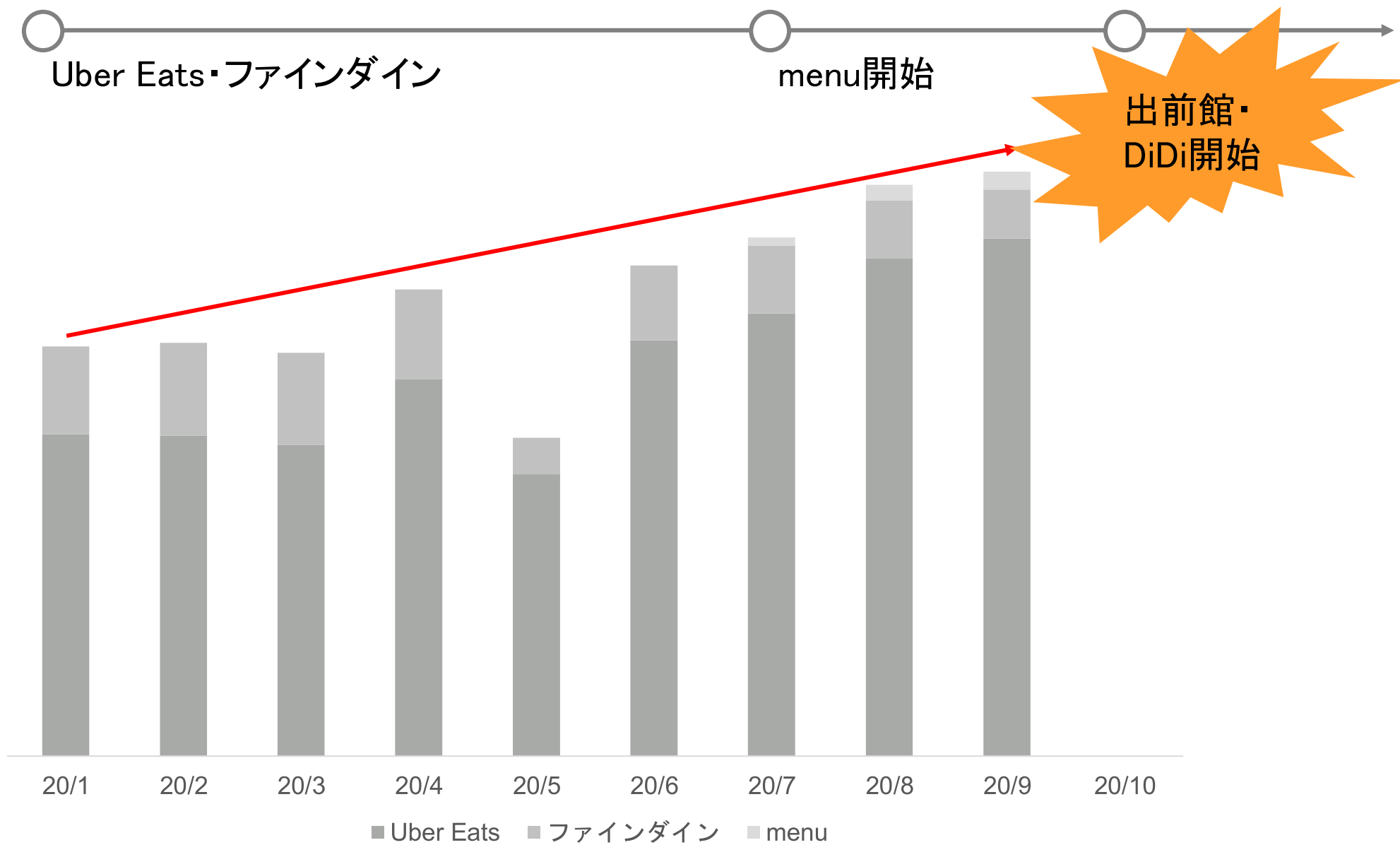
7.	キャッシュレス決済		いきなり！ステーキ事業・レストラン事業にて、2020年9月1日よりQRコード決済（PayPay、メルPAY、LINE Pay、au PAY、ゆうちょPay）を導入します。	9/1に導入完了しており、店頭にてお客様にご案内し、利用拡大中。	-
----	-----------	---	---	----------------------------------	---

取り組み施策の進捗状況

1.不採算店舗の撤退

	引き渡し済	確定済	未確定	小計
北海道・東北	5	3	7	15
関東	19	11	25	55
中部	7	4	8	19
近畿	5	2	7	14
四国	1	0	1	2
中国	1	0	2	3
九州	3	0	3	6
合計	41	20	53	114

取り組み施策の進捗状況 テイクアウト売上の増加



3.いきなり！ステーキ直営店立地別特性の分析

立地別直営店売上高の進捗状況(計画対比)

	7月	8月	9月	3Q合計
ビルイン	102.0%	115.0%	113.6%	109.8%
SC	118.0%	137.8%	138.5%	130.6%
ロード サイド	119.0%	131.6%	136.2%	128.2%
いきなり！ ステーキ 合計	110.3%	125.2%	125.2%	119.7%

SC・ロードサイド店舗
が計画に対して大きく
売上高を伸長させた

ワラント入金の状況

	8月 (8/17~)	9月	10月	合計
行使された 新株予約権の数 (株)	515,300	1,451,400	1,706,400	3,673,100
調達金額 (百万円)	202	504	488	1,196

今後の見通し

単位:百万円

勘定科目	実績			計画	実績	実績+計画	計画	予実差異
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	10/1~/11/13 ワラント入金	20/12期	20/12期	20/12期
売上高	12,296	5,576	6,668	7,079	-	31,618	30,577	1,041
売上原価	7,290	3,504	4,150	4,378	-	19,323	18,720	602
売上総利益	5,006	2,072	2,518	2,700	-	12,296	11,857	439
売上総利益率	40.7%	37.2%	37.8%	38.1%		38.9%	38.8%	0.1%
販売費及び一般管理費	5,887	3,655	3,840	3,203	-	16,585	16,072	513
営業利益	▲881	▲1,583	▲1,322	▲503	-	▲4,289	▲4,215	▲74
営業外収益	127	30	117	25	-	300	308	▲8
営業外費用	35	51	62	42	-	190	170	20
経常利益	▲788	▲1,604	▲1,267	▲519	-	▲4,179	▲4,077	▲102
特別利益	2	165	7,420	-	-	7,587	7,487	100
特別損失	6,208	231	▲386	-	-	6,053	6,769	▲716
税引前当期純利益	▲6,994	▲1,670	6,539	▲519	-	▲2,645	▲3,359	714
法人税等	1,102	649	▲572	32	-	1,212	1,203	9
当期純利益	▲8,097	▲2,319	7,111	▲552	-	▲3,857	▲4,562	705
純資産(ワラントを除く)	▲5,795	▲8,117	▲952	▲1,504	-	▲1,504	▲2,263	759
純資産(ワラントを含む)	▲5,795	▲8,117	▲246	▲798	704	▲94	▲2,263	-

※ 実績は20/3Qまでの実績を反映。20/4Q計画及び20/12期計画は当初計画数値。

※ 上述営業利益に加えて、3Qで前倒して計上した販売促進費71百万円と、子会社株式譲渡後の自立までの当社からの業務面での支援に対する報酬(32百万円)を加味すると、営業利益が103百万円加算され、**純資産は+9百万円となる見通し**である。(11/14以降のワラント入金は計算上織り込んでいません。)

第三四半期は依然として新型コロナの影響を受ける中、中期経営計画の達成に向け、①店舗撤退作業の推進、②希望退職手続きの推進、③肉マイレージのチャージ機能の廃止及び関連コストの削減、④ワラントによる資本増強を構造改革のために実施してまいりました。

また売上高については、おかげさまで第三四半期は計画数値を上回ることが出来ました。ただし、新たな生活様式にシフトしつつある環境下で、都心型のビルイン店舗の見通しについては懸念をしております。この点につきましては、顧客層やメニュー販売状況等の分析や対策の検討、またそれらに組織として取り組むための体制作りを進めています。こちらについても、今後の売上計画を達成すべく進めてまいります。

安心してお客様にご来店いただけるよう衛生面の対策を実行するとともに、メニューの見直しや新たな生活様式に合わせた提供等の施策を実施することを通して、今後も引き続きお客様にとって魅力のある店舗づくりに努めてまいります。

今期の着地見通しについて予断を許さない状況ではございますが、皆様からのお力添えにより債務超過の解消を見込むことが出来る状態まで辿り着くことが出来ました。

上記取組を徹底する中で、企業価値を再度向上させ株主優待を継続しながら、株主の皆様にもこの御恩をお返ししてまいる所存です。

株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長
一瀬 邦夫